

生活経済専攻

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の講義科目、演習科目並びに特別研究を置き、学位論文を課す。括弧内はそれぞれのカリキュラム・ポリシーが対応するディプロマ・ポリシーを示す。

- CP1 広い視野で経済学・家政学・政策科学等の基礎と応用を修得できるよう、特別研究以外の全科目をセメスター制（2単位）とする。（DP1、DP4）
- CP2 理論的アプローチにより問題がより明確に記述・分析できるとともに、生活の場での問題提起や経験的知識と理論を発展的に結合できるように、多くの科目で特論と演習の両方を置く。（DP2、DP3）
- CP3 知識・理解に基づいた客観的・論理的な思考の育成をはかるトレーニングができるよう、少人数の演習科目を置く。（DP4、DP7）
- CP4 多面的に問題の構造をとらえ、複合的視野で考察することができるよう、全教員によるオムニバス形式の授業を設ける。（DP2、DP4）
- CP5 個々の学生の関心テーマにそった専門家を招聘する特別講義を複数置く。（DP1、DP5）
- CP6 学生の興味・関心と研究テーマの社会的意義・目的が結びつくよう、個別指導を行う。（DP5、DP6）
- CP7 入学時より、それぞれの学生の進捗状況の把握がなされ、自主的・継続的な学修ができる支援体制をとる。（DP5、DP6）
- CP8 論文作成の技術や論理的思考を表現する手法を深めるため、特別研究の指導を行う。（DP7、DP8）
- CP9 修士論文では2回の発表会を開催し、プレゼンテーションスキルの向上をはかる。（DP9、DP7）
- CP10 家庭科又は社会科の中学校教諭専修免許状、高等学校教諭専修免許状を希望する学生には、教員としての専門性を高める指導を行う。（DP1、DP9）